

# 大阪府議会議員 大橋 あきお 通信

大橋章夫府政事務所 〒573-0027 枚方市大垣内町2-17-5 ダイショウビル301 TEL: 072-861-0117 / FAX: 072-861-0116 発行: 2015.12

## 薬物、アルコールなど 依存症者と家族をサポート

大阪府は、薬物、アルコール、ギャンブルなどの依存症者の治療と社会復帰をサポートする全国初のネットワーク組織「大阪アディクションセンター」を発足させました。アディクションセンターは建物の名前ではなく、当事者・自助グループ、医療、司法、行政からなるネットワークの名前です。行政が事務局となり、保健所、医療機関、矯正施設・保護観察所、弁護士会・司法書士会、厚生労働省、ヘルパーや訪問看護師など、それぞれの専門家が情報を共有し、社会復帰を支え抜いていきます。公明党は薬物対策、依存症対策に一貫して取り組んでまいりました。大橋章夫は、地元枚方市にある府立精神医療センター（依存症治療拠点機関）を訪問し、担当者との意見交換を行いました。



▲府立精神医療センター(枚方市宮之阪)にて意見交換

## 安心して住み続けられる枚方市をめざして

少子高齢化と人口減少という二つの課題に直面し、これからのまちづくりをどのように進めるか、真剣に考えていかなければいけません。大橋章夫は、「スマートエイジングシティ」（高齢化社会のための賢いまちづくり）を推進してきました。公有地を活用し、住宅と医療・介護施設などを誘致する取り組みにより、安心して住み続けられる枚方市をめざしていきたくと考えます。この間、大阪府やUR（都市再生機構）に要望活動を続け、香里ヶ丘地域や東牧野地域の公有地に住宅と医療機関の同時誘致が実現しました。

これからも高齢者が住みやすい街、若い人が暮らしやすい、子育てがしやすい街枚方市をめざし、がんばってまいります。



▲住宅と医療機関の  
開発が進む香里ヶ丘

府有地に住宅と  
医療施設が開発  
される東牧野 ▶



## 府議会都市住宅常任委員会で意見開陳



大橋章夫は、府議会都市住宅常任委員会の採決に先立ち、公明党の意見を述べました。

- ・阪神高速大和川線の工法変更については、二度と繰り返さないように管理を徹底すること。
- ・急傾斜地の崩壊防止のための対策に対し、所有者の負担を求める件については、災害対策が滞らないように事業実績の効果を検証し、府民にも公表すること。

◀委員会で意見開陳する大橋章夫